

## 令和4(2022)年度 前期授業評価アンケート分析報告書

### 1. 概要

2022年度前期授業評価アンケートについて前年度の状況と比較した上で、講義形式(①全科目、②対面、③オンデマンド、④ゼミ+卒業論文)ごとに相関行列を用いて分析を行った。

#### ● 分析結果

- ・ 前年度と比較して、興味関心、難易度、満足度に大きな変化は見られないが、学習時間は前年度前期より平均して約17分(41%)、前年度後期より平均して約12分(24%)増加している。
- ・ 全科目と対面授業において、興味関心は項目の中で最も強く授業満足度との間に正の相関があった(①0.704, ②0.705)。<sup>1</sup>
- ・ 同様に指示の適切性、双方向性、資料のわかりやすさ、は授業満足度との間に①②共に0.6以上の正の相関があった。
- ・ オンデマンドにおいては、資料のわかりやすさと授業満足度との間に強い正の相関があった(③0.733)
- ・ いずれの授業形態においても、難易度と授業満足度との間に相関があるとはいえない。
- ・ いずれの授業形態においても、課題分量と授業満足度との間に相関があるとはいえない。

#### ● 考察

- ・ 資料のわかりやすさは学生の理解を助けて、それが授業満足度に繋がると考えられるので、学生の目線に立った資料作りが望まれる。
- ・ 学生とのコミュニケーションは授業を進めるうえで重要だと考えられるので、学生との距離感を適度に保ちつつ、指導することが大切だと考える。
- ・ 双方向性に関しては、in Campusの導入により様々な工夫が可能なので、そのノウハウを蓄積していく必要がある。
- ・ 難易度と授業満足度との相関はかなり弱いので、過度に授業難易度を下げる必要はないと考えられる。
- ・ 課題分量が多くても授業満足度が低くなるわけではないので、学習効果が期待できると判断した場合は、課題を多く課すことも必要だと考えられる。

---

<sup>1</sup> 相関係数の評価はギルフォードの規則に従う。0.2未満：相関なし，0.2-0.4：弱い相関，0.4-0.7：中程度の相関，0.7以上：強い相関

## 2. 実施状況

- 2022 年度前期授業評価アンケートは次の方法で実施された。
  - ・ 令和 4 年 6 月 24 日（金）～7 月 13 日（水）
  - ・ 前期・通年開講授業科目（集中講義を含む）について実施
  - ・ in Campus ポータルのアンケート機能を使って実施

## 3. サンプルの状況

- 2022 年前期開講科目数（春学期開講科目＋夏季集中講義・通年科目）は、375 である。そのうち、履修生がゼロであるため科目を除外した結果、アンケートが実施できた科目は 336 である。
- これらの科目より最終的に回収した回答数は 5,657 である。

表 1 主要項目の推移

年度	履修者数		回答率		興味関心		難易度		満足度		学習時間	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
2021 前	37.79	15.0	0.783	0.830	4.140	4.140	3.750	3.770	4.190	4.210	42.11	38.26
2021 後	37.21	13.0	0.758	0.786	4.170	4.160	3.780	3.790	4.190	4.180	48.06	43.88
2022 前	37.60	15.0	0.603	0.579	4.138	4.116	3.631	3.656	4.141	4.143	59.53	53.33

## 4. 主要項目の平均値と中央値

- ・ 1 科目あたりの履修者は、前年と比べてほぼ変化していない。
- ・ 回答率は、平均で見ると若干低下しているが、中央値で見ると每期低下している。
- ・ 興味関心、難易度、満足度に大きな変化は見受けられない。
- ・ 学習時間は、約 12 分（24%）増加している。

## 5. 授業満足度との相関性

授業満足度と各項目との相関について、①全科目、②対面、③オンデマンド、④ゼミ＋卒業論文について相関行列を用いて分析した。その結果は下記の図表 2 から 4 のとおりである。

● 全科目分析結果

表2 全科目の相関行列

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2 興味関心	1.000	0.041	0.580	0.525	0.392	0.588	-0.036	0.215	0.156	0.704
Q3 難易度		1.000	0.090	0.103	0.128	0.012	0.269	0.211	0.172	-0.028
Q4 指示の適切性			1.000	0.662	0.522	0.628	-0.013	0.146	0.144	0.644
Q5 双方向性				1.000	0.457	0.558	0.025	0.169	0.173	0.581
Q6 in Campusの活用頻度					1.000	0.540	0.082	0.189	0.209	0.433
Q7 資料のわかりやすさ						1.000	-0.006	0.162	0.158	0.664
Q8 課題分量							1.000	0.203	0.289	-0.090
Q9 予習・復習								1.000	0.707	0.149
Q10 課題時間									1.000	0.125
Q11 満足度										1.000

- ・ 授業満足度との相関が強い順に、興味関心、資料のわかりやすさ、指示の適切性となっており、いずれも 0.6 以上の中程度の正の相関があった。
- ・ 難易度と授業満足度の間に相関があるとはいえない。
- ・ 課題分量と授業満足度の間に相関があるとはいえない。

● 対面授業科目の分析結果

表3 対面授業の相関行列

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2 興味関心	1.000	0.027	0.584	0.545	0.402	0.587	-0.038	0.216	0.170	0.705
Q3 難易度		1.000	0.09	0.11	0.16	0.02	0.27	0.20	0.19	-0.03
Q4 指示の適切性			1.000	0.671	0.534	0.627	-0.015	0.150	0.142	0.645
Q5 双方向性				1.000	0.490	0.575	0.017	0.181	0.155	0.593
Q6 in Campusの活用頻度					1.000	0.547	0.088	0.223	0.229	0.436
Q7 資料のわかりやすさ						1.000	5E-05	0.173	0.160	0.654
Q8 課題分量							1.000	0.214	0.288	-0.091
Q9 予習・復習								1.000	0.775	0.144
Q10 課題時間									1.000	0.114
Q11 満足度										1.000

- ・ 興味関心は、授業満足度との間に 0.705 の強い相関があった。
- ・ 全科目と同様に授業満足度との相関が強い順に、興味関心、資料のわかりやすさ、指示の適切性となっており、いずれも 0.6 以上の中程度の正の相関があった。
- ・ 難易度と授業満足度の間に関係があるとはいえない。
- ・ 課題分量と授業満足度の間に関係があるとはいえない。

● オンデマンド科目の分析結果

表4 オンデマンドの相関行列

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2 興味関心	1.000	0.157	0.583	0.513	0.485	0.632	0.023	0.195	0.131	0.715
Q3 難易度		1.000	0.235	0.226	0.180	0.073	0.304	0.235	0.207	0.081
Q4 指示の適切性			1.000	0.598	0.638	0.627	0.055	0.184	0.133	0.635
Q5 双方向性				1.000	0.511	0.529	0.114	0.264	0.202	0.541
Q6 in Campusの活用頻度					1.000	0.628	0.066	0.112	0.120	0.572
Q7 資料のわかりやすさ						1.000	-0.003	0.171	0.130	0.733
Q8 課題分量							1.000	0.237	0.286	-0.051
Q9 予習・復習								1.000	0.759	0.190
Q10 課題時間									1.000	0.138
Q11 満足度										1.000

- ・ オンデマンドという授業形態の性質からか、資料のわかりやすさと授業満足度の間に関係が 0.733 とかなり強い正の相関があった。

● ゼミ・卒業論文科目の分析結果

表5 ゼミ+卒業論文

	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2 興味関心	1.000	0.033	0.549	0.454	0.249	0.530	-0.126	0.231	0.058	0.680
Q3 難易度		1.000	-0.012	0.023	-0.050	-0.035	0.291	0.235	0.198	-0.055
Q4 指示の適切性			1.000	0.642	0.384	0.605	-0.121	0.105	0.029	0.617
Q5 双方向性				1.000	0.320	0.470	-0.093	0.056	0.015	0.523
Q6 in Campusの活用頻度					1.000	0.412	-0.021	0.036	0.041	0.282
Q7 資料のわかりやすさ						1.000	-0.104	0.086	0.051	0.614
Q8 課題分量							1.000	0.089	0.241	-0.193
Q9 予習・復習								1.000	0.476	0.141
Q10 課題時間									1.000	0.030
Q11 満足度										1.000

- ・ 他の授業形態とは異なり、授業満足度との相関が強い順に並べると、興味関心、指示の適切性、資料のわかりやすさとなっており、いずれも 0.6 以上の中程度の正の相関があった。
- ・ 難易度と授業満足度の方に相関があるとはいえない。
- ・ 課題分量と授業満足度の方に相関があるとはいえない。

以上